

庄内町地域公共交通会議 会議録

- 1 開催日時 平成 26 年 6 月 25 日 (水) 13 : 30~14 : 00
 - 2 開催場所 庄内町役場 西庁舎 会議室
 - 3 出席者 庄内町情報発信課 課長 水尾 良孝
東北運輸局山形運輸支局 首席運輸企画専門官 佐藤 聡
(一社)山形県バス協会 庄内交通(株) 取締役 本山 経一
山形県ハイヤー協会 余目タクシー(有) 取締役 中條 聡
庄内町自治会長会 理事 富樫 重勝
庄内総合支庁道路計画課 道路管理主幹 後藤 仁司
庄内警察署 交通主任 長南 新
庄内総合支庁地域振興課 主査 青木 啓介 (計 8 名)
 - 4 事務局 情報発信課課長補佐兼地域振興係長 太田 昭
地域振興係主事 太田 聡美
-

1 開 会 (13 : 30)

2 あいさつ

3 報 告

- (1) 庄内町営バスの運行状況について
- (2) 庄内町デマンドタクシーの運行状況について

【意見等】

委 員：町営バスの利用者が前年度と比較して 2 千人近く減っている。高齢者は増加傾向にあるとのことだが、原因の分析等はされているか。

事務局：まだ分析調査等は行っていない。過去数年においては、3 万人前後で推移している状況。

事務局：幹線路線においては、年度によって変動があるが、朝夕の高校生の通学利用が少なくなっている状況が挙げられる。循環路線においては、今まで利用していた方が高齢になり利用なくなるといった状況にあり、新たな利用者を増やすには至っていない。

座 長：利用者の減少については、停留所での乗降別データ等を取りながら原因を見ていきたい。新しい施設のオープン等の話題もあるので、バスを含め公共交通の利用拡大につながればと考えている。

4 協 議

- (1) 自家用有償旅客運送の更新登録申請について
更新登録申請の内容について、異議なく了承された。

【意見等】

委 員：定期券を利用されている方はどれくらいいるのか。

事務局：定期券の購入者は、通学利用の高校生がほとんど。人数のデータについては現在持ち合わせがない。

- 委員：運営はなかなか大変だと思うが、参考までに収支状況について教えていただきたい。使用料金の改定等は考えていないのか。
- 事務局：使用料金の改定については、現在のところ考えていない。管内の市町にも確認したが、増税に伴い改定するところはないようだった。庄内町は高齢者の方に減免措置を設けているが、利用者も多くが減免措置を受ける方。幹線は高校生の利用もあるが、収支に関しては厳しい状況にある。
- 座長：高齢者の通院や買い物等の外出支援、あるいは社会参加につながるような、福祉目的で運行されている面も大きい。もちろん公費なので収支のバランスも重要だが、そういった側面もあるということで、状況をご理解いただければと思う。
- 委員：町民の交流人口の拡大というのは、合併した旧町間の交流という目的もあると思うが、循環路線と幹線路線が双方を行き来して、交流人口の拡大にどのくらい寄与されているのか。
- 事務局：幹線路線は旧立川町で、循環路線は旧余目町で運行していたものを、それぞれの地域まで延伸したのが現在の路線。余目方面から乗り継いで北月山荘を利用される方も多いため、交流人口という面では広がったと言えると思う。
- 座長：合併後に、それまでの路線を再編成して、幹線路線は北月山荘から立川庁舎を經由して西庁舎までを結び、循環路線は従来余目地域で利用されていたものを、幹線路線との乗り継ぎを考慮しながら、お互いの交流拡大を図るということで進めてきたもの。

5 その他

【意見等】

- 委員：現在、運転手の高齢化や、募集してもなり手がいないということが広く問題となっているが、庄内町はどのような状況か。
- 事務局：運転手の高齢化の問題については庄内町も同様である。合併以前から運行に携わり、路線等運行に関しては熟知している方々ではあるが、次の年代へのシフトはなかなか進まない状況。
- 事務局：課題として捉えており、今後検討する必要も出てくると考えている。
- 委員：先程も話題に出たが、通学利用の高校生が何人いるかで輸送量が相当数変わってくる。高齢者についても、決まって乗車される方がお亡くなりになって、その後利用者が増えてこない。免許返納もぎりぎりまで待っている方が多い状況にある。バス停に行くためにかなり歩かなければならないところもあり、利便性も考えると、なかなか利用者が増えないという現状にある。
- 委員：道路管理においても、様々な業者さんの力を借りているが、特に除雪を担う業者の高齢化が進んでいる。色々なところで、同様の状況があると感じる。
- 座長：先程免許返納の話が出たが、返納率についてはどういった状況か。
- 委員：庄内町の免許返納率は県内でもかなり高いと聞いている。庄内町では、70歳以上の免許返納者へのタクシー券の交付制度があるので、返納の意識は高い印象。
- 座長：毎年申請が必要だが、生涯にわたってタクシー券の交付を受けられるということで、周辺でも珍しい施策であり、その辺りも影響しているのではと思う。

6 閉 会

(14:00)